

会長方針

2009-2010 年度会長 白石正彦

2009～2010年度のR Iテーマは『ロータリーの未来はあなたの手の中に』であります。

それを受けて、2700地区ガバナーの次年度方針のテーマは『和を以って貴しとなす・・・』であります。

近年、ロータリークラブが変わってきたという意見が聞かれることとも関連するのでしょうか。

『和を以って貴しとなす・・・』という言葉の本質は、我々が思いつくよりももっと深くて重いものなのかもしれませんが、一年をかけて良く考えて行きたいと思います。

先日、ロータリー勉強会への入会のご案内を頂きました。

何人ものパストガバナーが発起人となって、ロータリーの原点をもう一度学びなおそうというものであります。

このような時期に、私が、伝統ある『福岡北ロータリークラブ』の会長に選任していただいたという『縁』を大切に受け止めたいと思います。

クラブの運営方針として

① 絶えざる会員拡大のための努力を続けること

これは組織存続のための宿命であります。

② 奉仕の理想を探ること

社会奉仕であれ、職業奉仕であれ、そこに少しでも私たちの力を必要としている人々があれば、立ち止まって、何かお手伝いできることはないか考えてみたいと思います

ビルゲイツから提案されてR I会長が応じられたと聞く寄付についても、我がクラブは喜んでお付き合いしたいと思います。

米山奨学生の件も、将来自国に戻られたとき、日本人に好感をもってもらえるよう、誠心誠意援助したいと思います。

③ 福岡北クラブの親睦の和と絆をより確固たるものにすること

グローバルスタンダードと言われるようになって、とかく世の中がせっかちで気忙しくなっているように感じます。

本当の幸せは何なのでしょう。

社会の重要なリーダーである、ロータリアンのそれぞれが、自分のまわりにいる人々を少しでも幸せにするように心掛けて、まず自分のまわりから、楽しさと親愛にあふれるクラブ作りに励みたいと思います。

福岡北クラブの会員の皆様には、一年間、よろしく願いいたします。